

IX 農林大学校 就農支援センター

1. UIターン就農相談フェアを開催

12月13日、和歌山県JAビルにおいてUIターン就農相談フェアを開催した。相談会には県内への就農を考えている19組21名（県内12名、県外9名）が来場し、それぞれのブースでは就農に向けてのアドバイスや支援策・研修の説明を幅広く行った。今回の相談フェアは、事前予約制で運営するとともに、検温などの新型コロナウイルス対策を強化して実施した。

また、就農相談と並行して新規就農セミナーを開催した。このセミナーでは、就農支援センターで研修を修了し就農した先輩農業者が、就農した際の苦労話やアドバイス、現在の状況などについて発表し、質疑応答が行われた。

参加者からは「よい就農相談ができた」との声が多数聞かれた。



相談ブース



相談ブース



相談ブース



新規就農セミナー

2. 特別研修「小型車両系建設機械（整地等）特別教育」を開催

12月23日～24日、就農支援センターにおいて、パワーショベルを操作するために必要となる資格「小型車両系建設機械（整地等）機体質量3t未満 特別教育」を実施し、社会人課程と技術修得研修の研修生10名が参加した。

1日目は、パワーショベル等に関する法規、構造、操作、安全使用などの学科講習が行われた。

2日目は、実際にパワーショベルを操作して、地面の掘削や整地などを行った。

受講生は、慣れない機械操作に苦勞しつつも、次第に慣れてきた様子で、参加者全員が運転資格を取得した。「早速、就農に向けた改植準備にかかりたい」、「地域の農家から借りて練習する」などの声が聞かれた。

パワーショベルなどの建設機械は、農作業の大幅な省力化が期待できるため、安全第一で事故防止に努めながら農作業の効率化を図って欲しい。



学科講習



パワーショベル操作実習